



第76回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会



トラック：2021年8月13日（金）～15日（日） ロード：8月21日（土）～22日（日）

トラック競技：松本市美鈴湖自転車競技場(333.33m) ロード競技：群馬県利根郡みなかみ町群馬サイクリングスポーツセンター 1周6km
主催：日本学生自転車競技連盟 共催：(公財)日本自転車競技連盟 運営協力：長野県自転車競技連盟
後援：スポーツ庁 松本市 一般財団法人松本体育協会 一般社団法人松本観光コンベンション協会
協賛：(公財)JKA (公社)全国競輪施行者協議会 (一社)日本競輪選手会 井上ゴム工業株式会社 株式会社パールイズミ
WIN AND WIN CO., LTD. (WIAWIS) セイコータイムクリエーション株式会社
協力：井上ゴム工業株式会社 株式会社日直商会 フリヂェンサイクル株式会社

Communique 4-1

2021年8月11日

チーフコミッセル（トラック） 荒井 純一

トラック競技に関すること

1. 本大会のコミッセルパネルは、下記の通りとする。

荒井純一、倉田達樹、藤森信行の3名とする。

2. チーム役員登録証（トラック）について

- トラック初日の出場者受付時間内において、[チーム役員登録証（トラック）](#)を大会受付に提出すること。トラック初日に出場選手がいない場合は2日目もしくは3日目の大会受付の際に提出してもよい。但し、チーム役員登録証（トラック）に記載された方のみが競技場フィールド内に立ち入ることができるので、初日に提出しないチームについては、提出するまでチーム役員が競技場フィールド内に入ることにはできませんのでご注意ください。また、競技場フィールド内に立ち入る場合は必ずIDカードを着用してください。
- 尚、本登録証にはチーム監督が署名する必要がありますが、登録されたチームスタッフの行動についてチーム監督が責任を負うこととなります。また、チーム監督はUCIコーチ資格、日本スポーツ協会上級コーチ・コーチ・指導員資格、JCFチームアテンド資格所持者に限ります。

3. 団体種目(TP/TSP)出走選手届と補欠選手起用届及び欠場について

- 団体種目（4km チームパーシュート/男女チームスプリント）は、当該競技番組開始の1時間前までに出走者変更の有無に関わらず団体種目(TP/TSP)出走選手届を、セクレタリに提出すること。エントリー数が出走可能人数の規定内ギリギリでも提出すること。
- 尚、本大会の男女チームスプリントについてはトラック2日目の朝一番に競技が行われるため、前日の14時までに団体種目(TP/TSP)出走選手届をセクレタリに提出することとします。但し、1日目不参加で2日目から参加の学校については通常通り1時間前までにセクレタリに提出することとします。

4. 補欠選手起用届及び欠場について

- 本大会は招集を行わない。欠場については、トラック3日間とも朝の出場者受付時間内に大会受付に欠場を申し出ること。
- 欠場する選手の代わりに補欠選手を起用する場合は、当該競技種目を初めて開始する日の出場者受付時間内に、補欠選手起用届を大会受付に提出する事とし、要項にあるように出場者受付時間終了を最終期限とする。これ以降については、大会医師が認めた怪我・病気による変更以外は認めない。
- 但し、第2日目以降に開始する競技の出場選手については当日から参加した学校を除き、前日の14時迄に補欠選手起用届をセクレタリに提出することとする。当日の急な競技番組の編成の変更による大会の遅延を防ぐため、補欠選手起用届の前日の提出にご協力いただきたい。また、補欠選手が出場可能かどうかの確認（男女とも個人種目は2種目までしか参加できない）を行うが、補欠起用の際は十分確認してから提出すること
- 各用紙については、当連盟ホームページから前もってダウンロードしてプリントし、もれなく記入してそれぞれ指定した提出先に遅れないように提出して下さい。<https://jicf.info/16685/>よりダウンロードできます。



この大会は競輪の補助を受けて実施いたします。

<http://hojo.keirin-autorace.or.jp/>



SEIKO

PEARL IZUMI

NICHINAO

レースの結果はホームページでも公開しています。 <https://jicf.info/>



第76回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会



トラック：2021年8月13日（金）～15日（日） ロード：8月21日（土）～22日（日）

トラック競技：松本市美鈴湖自転車競技場(333.33m) ロード競技：群馬県利根郡みなかみ町群馬サイクリングスポーツセンター 1周6km
主催：日本学生自転車競技連盟 共催：(公財)日本自転車競技連盟 運営協力：長野県自転車競技連盟
後援：スポーツ庁 松本市 一般財団法人松本体育協会 一般社団法人松本観光コンベンション協会
協賛：(公財)JKA (公社)全国競輪施行者協議会 (一社)日本競輪選手会 井上ゴム工業株式会社 株式会社パールイズミ
WIN AND WIN CO., LTD. (WIAWIS) セイコータイムクリエーション株式会社
協力：井上ゴム工業株式会社 株式会社日直商会 プリズンサイクル株式会社

Communique 4-2

5. バイクインスペクションについて。

- コロナウイルス感染防止対策として、レース前のバイクチェックは行わず、セルフチェックとする。但し、選手はマスクを着用し、決められた間隔をあけて順番を待つこと。また、自転車器材については選手本人が取り扱うものとし、審判は自転車器材等には触らないことを基本とする。
- また、入賞者・ランダム抽出者を対象に、各レース終了後すぐにコミッセルが個別に検車を行う予定である。該当選手はアナウンス等に注意し、すみやかに検車場に集合すること。
- 事後検査で規則違反が判明した場合、失格を含むペナルティが課される場合がある。バイク寸法に不安がある場合、寸法規程ぎりぎりのポジショニングとしている場合、大会現場に設置されたバイクチェック・ジグによる事前確認を行っておくことを強く推奨する。特に寸法や重量の違反については後で検査して不可であった場合には、失格の判定となるので、注意されたい。また、「他の大会ではこれで出走を許可されている」という主張は受け入れられない。

6. 競技の進行について

- 時呈どおりに競技を進行させるため、選手は出場種目のスタート5分前までには、スタート地点の次走選手控テントで待機してください。相手選手と同時にスタート準備を出来ない選手は、レースから除外します。

7. 本大会は2021年10月18日版UCI規則および大会特別規則を適用する。

- 本大会に関係する重要事項の抜粋
 - ・バンチレース（今大会で該当はオムニウム・マディソン・ケイリン）においては、落車の際にメカニック等のみがコミッセルの許可を受けてセーフティゾーンに入ることができる。（IP及びTPを除き、競技中にセーフティゾーンから指示することは禁止された。）
 - ・マディソンの中間スプリント周回は、333.33mトラックにおいて6周回に一度。
 - ・マディソンで1周回ラップされた選手は、コミッセルパネルにより除外され得る。
 - ・バンチレースでは、スプリント周回の前の周に、先頭競技者がフィニッシュラインを通過した際に、鐘が一度鳴らされる

8. タンデム・スプリントに使用する自転車の器材について

(JICF 沿革・組織・憲章・規程Ver.19. 2020.07.18.版 p13～p15を参照

https://jicf.info/hp/wp-content/uploads/2020/07/20jicf_gakurenannai_200718.pdf)

- タンデム・スプリントに使用する自転車については、上記のタンデム用自転車器材に関する規定に加え、後輪の駆動側にチェーン引き又は同等の効力をもつ緩み防止装置の装着を義務付ける。装着なき場合はレース・練習を問わず使用を禁ずる。また、パンクやタイヤ外れを起こしていない正常なタイヤを、しっかりリムセメントで固定して参加すること。
- バイクチェックでの確認の結果、上記のことについて不具合が明らかになった場合は、レース後におも失格とする場合もあります。タンデムについては、同じく基本はセルフチェックではありますが、コミッセルによるバイクチェックを必ず受けるようにしてください。あくまでも対戦相手と自分自身の安全を確保するためにタンデムの器材に関しては担当コミッセルの指摘と助言を聞いてください。よろしく願い申し上げます。

9. 男子スプリント・女子スプリント

- 男子スプリントの1/4決勝は、1回戦制で行う。
- 女子スプリントは9名のエントリーだったが、時程上、要項の通り1/4決勝は行わず、予選の上位4名が1/2決勝に進む。但し、5～8位については予選タイムの結果ではなく、予選5～8位による5～8位決定戦を行う。



この大会は競輪の補助を受けて実施いたします。

<http://hojo.keirin-autorace.or.jp/>



レースの結果はホームページでも公開しています。 <https://jicf.info/>



第76回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会



トラック：2021年8月13日（金）～15日（日） ロード：8月21日（土）～22日（日）

トラック競技：松本市美鈴湖自転車競技場(333.33m) ロード競技：群馬県利根郡みなかみ町群馬サイクリングスポーツセンター 1周6km
主催：日本学生自転車競技連盟 共催：(公財)日本自転車競技連盟 運営協力：長野県自転車競技連盟
後援：スポーツ庁 松本市 一般財団法人松本体育協会 一般社団法人松本観光コンベンション協会
協賛：(公財)JKA (公社)全国競輪施行者協議会 (一社)日本競輪選手会 井上ゴム工業株式会社 株式会社パールイズミ
WIN AND WIN CO., LTD. (WIAWIS) セイコータイムクリエーション株式会社
協力：井上ゴム工業株式会社 株式会社日直商会 フリヂストンサイクル株式会社

Communique 4-3

10. 男子タンDEM・スプリント

- 予選は、5周を周回する内の最後の1周（333.33m）を計時する。また、対戦も5周回で行う。
- 1/4決勝、5-8位決定予選、7-8位決定戦、5-6位決定戦は、1回戦制で行う。

11. 男子ケイリン

- エントリーが19名のため予選を3組で行い、各組2位上がり。敗者復活戦を3組で、各組2位上がりとして、それぞれ1/2決勝へ進出する。
- 1/2決勝から各組上位3名が決勝へ、下位3名は7～12位決定戦に進出できる。
- デルニーライダー追走時も、違反行為は厳に慎むこと。

12. 男女オムニウムおよび男女マディソン

- 男子オムニウム エントリーは24名だったが、安全な競技を行うため、ポイントレースでの予選（2組）を距離12km（36周回）で行い、各組9名上がり、本戦を18名で行う。
- 男子マディソン エントリーが12チームだったので、決勝のみ距離30km（90周回）で行う。
- 男女オムニウムおよび男女マディソン共通 専用のボディナンバーとフレームプレートをつけて行う。フレームプレートは、フレーム前方の中央に装着すること。出走1時間前を目処に配布のアナウンスをするので留意のこと、受付にボディナンバーとフレームプレートを取りに来ること。各組終了後はボディナンバーとフレームプレートを返却する必要はない。

13. 男子チーム・パーシュート

- 決勝のみを行う。追い抜きがあった場合でも両チーム完走し、タイムを計時する。
- 本大会では13組が行われるうち、最初の2～5組に関してホームバック両側よりの2チーム同時発走とする。（2021 UCI 規則 3.2.083）
- 残り9組については、ホームからの1チームずつの単独発走とする。

14. パーシュートまたはタイムトライアル種目における走路内のコーチについて

- スタートしてそれが正しく行われたと認められたなら、コーチとして1名だけが安全地帯（ブルーバンドより4m）に留まることができるが、軽率な応援身振りなどは一切認められない。（2021.10.18 UCI 規則 3.1.012）
また、コーチとして留まれるものはチーム役員登録証（トラック）に登録してIDカードを所持する者に限る。
- コーチとして安全地帯に留まる場合、その者は小型トランジスタ・メガフォンや小型スピーカまたは黒板やホワイトボードを使用して自チーム選手への情報伝達を行うことを認める。大声の肉声による指示等は禁止とする。大声の肉声による指示等が確認された場合は直ちに退去を命じるものとする。また、競技運営に支障があるとコミッセルが判断した場合も、その中止と退去を命じるものとする。

15. バンチレースにおける事故・ニュートラリゼーションへの対応について

- 事故等に備えてメカニックなどの特定のチームスタッフとして、チーム役員登録証（トラック）に登録してあり、IDカードを所持する各チーム1名を、必要な機材をあらかじめウオームアップエリアの走路入り口階段下付近に準備・待機することができる。ただし事故の際にインフィールドに入る際は、コミッセルの許可を受け、その指示に従うこと。
- 本大会では、バンチレースにおいて、上記の特定のチームスタッフ1名とは別に、役員登録証（トラック）に登録してあり、IDカードを所持する各チーム1名以内のコーチがトラック安全地帯より内側の部分（芝生部分に相当）に滞在して小型トランジスタ・メガフォンや小型スピーカまたは黒板やホワイトボードを使用して自チーム選手への情報伝達を行うことを認める。各コーチは相互に両手を伸ばしても触れあわない距離を保って滞在し、大声を出さないようにすること。（大声の肉声による指示等は禁止とする、大声の肉声による指示等が確認された場合は直ち



この大会は競輪の補助を受けて実施いたします。

<http://hojo.keirin-autorace.or.jp/>



レースの結果はホームページでも公開しています。 <https://jicf.info/>



第76回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会



トラック：2021年8月13日（金）～15日（日） ロード：8月21日（土）～22日（日）

トラック競技：松本市美鈴湖自転車競技場(333.33m) ロード競技：群馬県利根郡みなかみ町群馬サイクルスポーツセンター1周6km
主催：日本学生自転車競技連盟 共催：(公財)日本自転車競技連盟 運営協力：長野県自転車競技連盟
後援：スポーツ庁 松本市 一般財団法人松本体育協会 一般社団法人松本観光コンベンション協会
協賛：(公財)JKA (公社)全国競輪施行者協議会 (一社)日本競輪選手会 井上ゴム工業株式会社 株式会社パールイズミ
WIN AND WIN CO., LTD. (WIAWIS) セイコータイムクリエーション株式会社
協力：井上ゴム工業株式会社 株式会社日直商会 プリチストンサイクル株式会社

Communique 4-4

(に退去を命じるものとする) 滞在できるのは2コーナーから3コーナーの直線部分に限る。また、競技運営に支障があるとコミッセルが判断した場合も、その中止と退去を命じるものとする。

- ニュートライゼーション適用の際の周回数は、本大会では1250mに最も近い4周以内とする。但し、最後の1km以内には復帰することはできない。

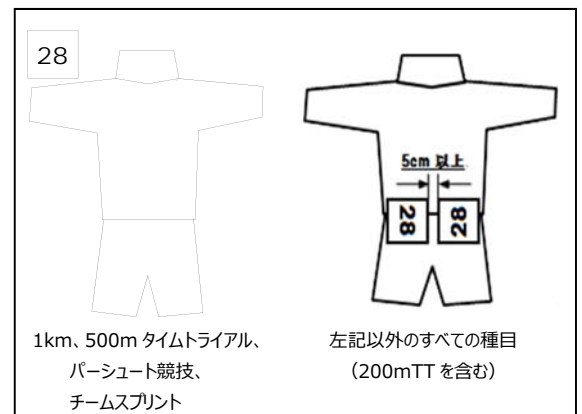
16. ハンドルバー、並びにアタッチメントバーの全ての端面には、バーエンドキャップを装着のこと。

17. 表彰式

- チームユニフォーム着用の事。サングラス・帽子の着用、サンダル履きは禁止する。

18. ボディーナンバー（ゼッケン）について

- トラック用のボディーナンバーとロード用のボディーナンバーは付ける向きが違うので注意すること。
- ボディーナンバーをつける際の安全ピンは各校で用意すること。
- ボディーナンバーの装着及び枚数は一般規則に準じる。(右図参照) 乗車した姿勢で、出来るだけシワがよらない様に、装着してください。
- オムニアム、マディソンでは、専用のボディーナンバーとフレームプレートを使用のこと。フレームプレートは、フレーム前部中央につけることを原則とする。
- ボディーナンバーとフレームプレートは返却する必要はないが、必ず持ち帰ること。



19. トラック競技でのホルダーに関すること

- 男女オムニアム（内側スタート）
- 男女マディソン（内側スタート）
- 男女スプリント
- 男子タンデム・スプリント
- ケイリン2走以降（一番内側の1走はコミッセルが担当する）

に関しては、各チームでホルダーを用意して下さい。

また、このホルダーについてもチーム役員登録証（トラック）に登録しており、IDカード所持する者に限ります。

20. その他諸注意

- 本大会はコロナ感染対策上、無観客大会としています。よって走路外周フェンス外側からの肉声・メガホンを使用するの応援は本大会では認められません。但し、声を出さずに拍手による応援に限っては許されるものとします。もし、肉声・メガホンを使用するの応援が確認された場合は一時退去を命じ、繰り返される場合には罰金等のペナルティも検討するものとする。また、走路外周フェンス外側では隣の人との間隔を相互に両手を伸ばしても触れあわない距離（1.5m）を保ってください。

以上



この大会は競輪の補助を受けて実施いたします。

<http://hojo.keirin-autorace.or.jp/>



レースの結果はホームページでも公開しています。 <https://jicf.info/>